

平成 3 0 年

第 5 回仙北市議会定例会  
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 3 0 年 8 月 3 1 日

平成30年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

## 【教育総務課】

### ◇学校適正配置に関する意見交換会について

6月26日から7月13日にかけて、第1回意見交換会を桜木内地区住民・上桜木内地区住民・中川地区住民・桜木内中学校保護者・中川小学校保護者を対象に5回開催しました。「子どもたちのよりよい教育環境は、どうあればよいか」をテーマにご意見・ご感想をお聞きする場として意見交換を行いました。

桜木内・上桜木内地区においては、通学時間の問題、健康面への不安、生徒や親の負担の大きさ、不公平感及び地域の衰退への危惧等のご意見をいただきました。

中川地区においては、児童の減少を考えると統合もやむなしとの意見や、きめ細かい教育への配慮、地域の拠点づくりへの不安、地域活性化対策等のご意見をいただきました。

8月27日から29日には、第2回意見交換会を各3地区で開催し、多くの皆様のご意見をいただきました。今後も時間をかけて意見交換を行い、方向性を見出して行きたいと考えております。

### ◇台湾台中市立恵文高級中学訪問について

8月9日から11日まで、田口角館中学校長と私、外担当2人で、台中市立恵文高級中学を訪問して参りました。これまでの恵文高級中学と角館高校との交流を受けて、「小さな国際文化都市」を目指す仙北市の角館中学校との交流、姉妹校提携のご提案をいただいていた訪問であります。

この学校は、国際教育模範校として、異文化交流等に大変力を入れている中高一貫型の学校であり、姉妹校提携に向けた意思確認、具体的な交流内容等を協議して参りました。

12月5日、この学校の仙北市への修学旅行を機に、角館中学校

を会場に姉妹校締結式の予定であり、現在、交流の具体的な内容を検討している状況です。

#### ◇大曲仙北中学校総体について

6月15日から17日まで、平成30年度大曲仙北中学校総合体育大会が開催されました。

ソフトテニス男子団体戦で角館中学校が準優勝、柔道男子団体戦で神代中学校が準優勝、卓球男子団体戦で角館中学校が第3位、柔道男子団体戦で角館中学校が第3位の成績を収め、県大会出場権を獲得しました。

また、個人種目で県大会出場権を獲得した選手も多数おり、全体として延べ88人の生徒が全県中学校総合体育大会に出場しました。

#### ◇全県中学校総体の主な結果について

7月14日から16日まで、第67回全県中学校総合体育大会が開催され、柔道男子個人66キロ級で、角館中学校3年鎌田 匠人（かまだ しょうと）さんが優勝、バドミントン男子個人の部で、生保内中学校3年三浦 悠（みうら ゆう）さんが準優勝、剣道女子個人の部で、生保内中学校3年畠山 葉月（はたけやま はづき）さんが第5位となりました。

また、卓球男子団体の部とソフトテニス男子団体の部で、角館中学校がそれぞれベスト8、陸上女子1年100mで生保内中学校藤岡 莉渚（ふじおか りな）さんが第4位、陸上男子砲丸投げで神代中学校3年藤峰 太輝（ふじみね たいき）さんが第6位、水泳女子100m自由形で角館中学校1年高橋 陽（たかはし ひなた）さんが第7位、陸上女子共通100m障害で角館中学校3年佐々木 稚那（ささき わかな）さんが第8位に入賞しました。

さらに、オープン参加種目のフェンシング女子フルーレで、角館中学校2年戸嶋 希望（としま のぞみ）さんが第3位、同じく角

館中学校 2 年永井 未寿稀（ながい みずき）さんが第 5 位に入賞しました。

#### ◇県展入選について

6 月 1 3 日、第 6 0 回秋田県美術展覧会（県展＝秋田魁新報社、県、県教委、秋田市主催）の作品審査が行われ、応募した市内の中学生の作品も多数入選しました。

県展は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの 7 部門に、計 1,587 点の応募があり、6 月 2 2 日から 6 月 2 8 日までアトリオン、県立美術館県民ギャラリーで開催されました。

デザイン部門で、角館中学校 3 年伊沢 楓（いさわ かえで）さん、生保内中学校 3 年千葉 雄大（ちば かつひろ）さん、三浦 優希奈（みうら ゆきな）さん、渡邊 愛生（わたなべ めぐみ）さんが見事入選となりました。

#### ◇仙北市・富士河口湖町子ども交流事業について

クニマスの再発見を契機に、平成 2 4 年度から始まった交流事業は、7 回目を迎えました。今年は 8 月 1 日から 3 日までの 3 日間、市内各中学校の代表 6 人が山梨県富士河口湖町を訪問しました。

富士河口湖町役場の表敬訪問、西湖「クニマス展示館」の見学、カヌー体験、富士山五合目周辺の散策などの活動を通して、クニマスの人工増殖の取組や、富士河口湖町の豊かな自然や環境保全などについて学習しました。

今後、交流を通して学んだことを自校の生徒に伝えながら、クニマスや環境保全、仙北市の将来等について生徒全員で考えていきたいと思います。

#### ◇子どもサミットについて

8 月 7 日、市内 1 2 校の児童会・生徒会代表者による第 1 3 回子どもサミット～S e m b o k u C i t y ジュニア未来会議～を

開催しました。

子どもサミットでは、いじめの撲滅などを旨とする「仙北っ子の約束」の浸透を図る具体的な手立てや、家庭学習の充実のための各校の取組状況について、活発な意見交換がなされました。

今後も、ふるさと仙北市や自分たちの学校生活をよりよいものにしていくために、子どもたち自身による自主的、主体的な取組を支援していきます。

#### ◇学校閉庁日について

教職員の多忙化が全国的な問題となり、学校における働き方改革に向けた取組の一環として、全国的に学校閉庁日の設定が進められています。

本市においても、教職員が心身ともに健康で、よりよい教育活動が展開できることは、子どもたちのよりよい成長につながると考え、平成30年度より8月13日から8月15日までの3日間を学校閉庁日といたしました。

#### ◇大曲・仙北田沢湖一周駅伝競走大会について

8月28日、大曲・仙北田沢湖一周駅伝競走大会が開催され、仙北市からも5校が出場しました。男子の部では、角館中学校Aチームが準優勝、角館中学校Bチームが第4位、神代中学校が第7位。女子の部でも、角館中学校Aチームが第4位という素晴らしい成績を収めました。

#### 【学校給食センター】

#### ◇秋田県学校給食研究協議大会の表彰について

7月31日に開催された「平成30年度 第61回秋田県学校給食研究協議大会本荘由利大会」において、白岩小学校が学校給食優良校として表彰されました。

この大会は、学校給食の指導・管理・運営に関して、地域の特色

を生かした学校給食の在り方について研究協議を行うものであり、白岩小学校は、秋田県における学校給食の充実と改善及び指導力の向上に対する多大な功績が認められ、今回の受賞となりました。

#### ◇学校給食食材からの大腸菌群検出について

8月28日、秋田県学校給食会より、保健所の立ち入り検査によって、西木学校給食センターの給食で使用した「冷凍カボチャ」に大腸菌群が検出されたとの報告を受けましたが、給食を食べた児童生徒等に健康被害が出ていないことを確認しました。

学校給食会より、十分な加熱をすれば安全であるとの見解があり、栄養教諭及び栄養士によって十分な洗浄・加熱により安全であると確認されております。なお、角館、田沢湖学校給食センターでは、この食材を使用しておりません。

今回の事案で、児童生徒、保護者等の皆様に多大なご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

### 【生涯学習課】

#### ◇子ども演劇体験講座について

今年度の新規事業として、子ども達の豊かな表現力やコミュニケーション能力の向上を図るため、「わらび座」の協力のもと、7月25日、31日、8月2日、4日の全4回にわたり「子ども演劇体験講座」を仙北市民会館にて行いました。

参加した市内各小学校の5年生から6年生の男女6人は、わらび座の脚本家・栗城宏さんが書き下ろした脚本「俺（おい）はサムライ・ドラマー」（大村藩士・浜田謹吾少年の物語）をテキストに、わらび座の役者から指導を受け、回を重ねるたびに成長していく姿を見せてくれました。また、最終日には保護者などの前で舞台発表を行い、演劇を通して様々なことを学び、大きな達成感を得たようでした。

今後も、多くの子ども達が演劇を通して、表現力やコミュニケー

ション能力の向上が図られるよう環境づくりを推進していきます。

#### ◇成人式について

8月15日、仙北市民会館において仙北市成人式を開催しました。今年度の対象者は264人で、うち213人（80.68%）が参加し、懐かしい友との再会を喜びながら和やかな雰囲気の中にも、厳粛に執り行われました。

新成人3人による「誓いのことば」では、両親や家族、先生方や仲間たち、そして地域の方々など多くの方に支えられ成長できたことへの感謝のことばと、これからは夢や目標に向かい、見かけにとられない中身のある社会人として、家族や仙北市に恩返しできるよう努力し続けたいという力強い決意が述べられました。

式典終了後に行われたアトラクションでは、「世界に一つだけの花」と、「秋田県民歌」が合唱され、会場は一体感に包まれました。

例年、成人式では地元に住する新成人の有志が中心になり、成人式やアトラクションの運営を自主的に行っています。参加した新成人が郷土の良さを再認識し、一人でも多く仙北市に定住してくれるよう、今後も積極的な企画運営に取り組んでいきます。

### 【田沢湖公民館】

#### ◇生保内節盆踊り大会について

8月18日、田沢湖庁舎駐車場を会場に、第48回生保内節盆踊り大会を開催しました。

市内外から400人余りの観客や参加者が、過ぎゆく夏の夜を民謡「生保内節」に合わせ、心ゆくまで楽しみました。

盆踊りの合間には、石神稲穂太鼓保存会、生保内田植え踊り保存会の郷土芸能のほか、生保内小学校児童による民謡や、だしのこ園職員によるサンバ生保内節などの踊り、田沢湖さんさ湖桜会によるさんさ踊りなど多彩なアトラクションが披露され、詰めか

けた多くの観衆から盛大な拍手が送られ、会場は大いに盛り上がりました。

### 【学習資料館・イベント交流館】

#### ◇「新潮社の装幀展」(そうていてん)について

4月8日から7月8日まで、新潮社記念文学館で開催した佐藤義亮(さとう ぎりょう)生誕140年記念企画展「新潮社の装幀展」は、2,089人のお客様からご観覧いただき、好評のうちに終了しました。

開期中は「文豪とアルケミスト」人気キャラクターをデザインした、新潮文庫特別限定カバーパネルの見学を目的に、全国から多くのファンも詰めかけました。

7月1日に開催した特別企画ギャラリートークでは、株式会社新潮社の楠瀬啓之(くすのせ ひろゆき)さんと黒田貴(くろだ たかし)さんから、装幀の変遷や装幀室の仕事について、貴重なお話を伺うことができました。

#### ◇「高井有一展」について

7月14日から11月4日まで、アンコール企画展「高井有一展」を開催しています。展覧会では、昨年から現在までに寄贈された高井有一氏旧蔵資料から書籍を中心に、直筆原稿、雑誌、愛用品など約100点を展示しています。祖父田口掬汀(たぐち きくてい)の故郷であり、自身も戦時中疎開した当時の角館町との深い交流が、新潮社記念文学館への寄贈につながったものと思われま

す。8月2日には、特別企画としてボランティア団体「やさいの花」の協力により、少年期の戦争体験を題材にした、戦争文学 高井有一「櫟(くぬぎ)の家」朗読会を開催しました。常設展示の「高井有一書斎」では、旧蔵書を一部入れ替え、愛用品や写真等の展

示とともに書齋を再現しています。開期中、多くの方々にお出でいただきたいと思ひます。

#### ◇「新潮社創業者佐藤義亮生誕140年記念事業」について

7月24日から29日まで、仙北市出身の新潮社初代社長、佐藤義亮（さとう ぎりょう）の功績を顕彰するため、「新潮社創業者佐藤義亮生誕140年記念事業」を、新潮社社屋に近い東京神楽坂で行いました。

7月25日に、門脇市長、石黒角館図書館後援会長、石川副会長と私、外関係職員が新潮社を表敬訪問しました。

同日開催された第47回神楽坂祭りで、門脇市長のあいさつやおやま囃子、手踊りの披露を行い、多くの観客から盛大な拍手をいただきました。

また、新潮社や地元の神楽坂文化振興倶楽部等のご協力により、期間中、ギャラリー「かぐらざか五感肆（ごかんし）パレアナ」において、佐藤義亮と新潮社記念文学館に関わるパネル展示、角館のお祭りのDVD放映、仙北市の観光地紹介、郷土の製品の販売等も行い、地元神楽坂の皆様や東京に住む仙北市出身の皆様との交流を深めることができました。

#### 【スポーツ振興課】

#### ◇田沢湖マラソン開催について

9月16日、2008年北京オリンピック女子10,000m日本代表として出場され、世界選手権等で活躍されている渋井陽子（しぶい ようこ）さんをゲストランナーにお迎えし、第33回田沢湖マラソンが開催されます。

エントリーの状況は、昨年を若干上回っており、前日エントリーを含めると最終的には5,000人程度となる見込みです。

本年も J T B スポーツステーションエントリーを引き続き行い、これまでの走るだけの参加型から観光を含めた滞在型を積極的に取り込み、国内参加のみならずインバウンド対応として、海外からの受入を積極的に行っています。

また、台湾高雄国際マラソンとの連携については、今年の2月に高雄市から招待を受け、仙北市民ランナーが大会へ参加していますが、今大会へも高雄市の関係者やランナーを招き、市民交流の取り組みを行う予定となっています。

#### ◇各種スポーツ大会について

9月23日には、第28回100キロチャレンジマラソン大会が開催されます。

エントリーの状況は、100キロの部に1,086人、50キロの部に361人となっております。

大会運営や今後の大会継続のあり方等検討の余地はあるものの、引き続き秋田県や関係団体とともにサポートを行っていきます。

10月7日、鹿角市で開催される秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！に向けて、7月28日に小・中学生の選考会を実施し、仙北市選抜チームが結成されました。小学生、中学生、高校生、一般、壮年からなる9区間に、各年代の代表選手総勢18人が参加します。

#### 【文化財課】

#### ◇武家屋敷河原田家主屋修理現場見学会の開催について

昨年度から、文化財建造物等を活用した地域活性化事業による修理事業を実施している武家屋敷河原田家で、8月6日主屋修理現場見学会を開催しました。

広報や内町通信で周知したところ、これまで非公開となっていた主屋の内部を見学できる機会ということで、午前、午後合わせて35人

の皆様に参加いただきました。当日は初めに工事の概要を説明した後、実際に居間の畳を上げて床板を外した現場や、各部屋の様子など1時間ほどゆっくりと見学をしていただくことができました。

### 【平福記念美術館】

#### ◇「郷土画人展～秋田が誇る作家たち～」、「ひらふくひらく－秋田県内作家によるグループ展」について

5月31日まで開催した「池田修三作品展」は、4,919人の入館者数となり大好評のうちに、無事終了することができました。

6月8日から7月24日まで、「郷土画人展」を開催しました。地元愛好家の方々からご協力を得て、寺澤孝太郎（てらさわ こうたろう）や西宮禮和（にしのみや れいわ）など郷土画家の逸品を紹介させていただきました。開期中は931人の入館者数となりました。

7月31日から9月24日まで、秋田県内で活動する若手現代芸術家7人によるグループ展「ひらふくひらく」を開催しており、陶芸や写真、イラスト、絵画など、幅広いジャンルの展示になっております。8月4日にはワークショップも開催され、たくさんの親子連れが来館し、人形劇の鑑賞や作品作りを体験していただきました。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。